REFERENCE 1 JP-A-56-58024

Title of the Invention: FIBER MATERIAL FOR FIBER REINFORCED RESIN

Patent Appln. No. 54-131777

Filing Date: October 15, 1979 Laid-Open Date: May 20, 1981 Inventors: Nishimura et al. Applicant: TORAY CO., LTD.

Claims

- (1) A fiber material for fiber-reinforced resins characterized in that a plurality of woven fabrics composed of a fiber for reinforcement are positioned to form a multilayer, and these woven fabrics are retained at one with each other by alternately allowing at least a part of warps or wefts of one woven fabric and at least a part of warps and wefts of the other woven fabric to cross each other, both woven fabrics facing each other.
- (2) A fiber material for fiber-reinforced resins characterized in that a plurality of woven fabrics composed of a fiber for reinforcement are positioned to form a multilayer, and these woven fabrics are retained at one with each other through an auxiliary fiber that alternately crosses at least a part of warps or wefts of two woven fabrics facing each other.

⑩ 日本国特許庁 (JP)

① 特許出願公開

^⑩ 公開特許公報(A)

昭56—58024

識別記号

Int. Cl.3 D 03 D 1/00 11/00 // B 32 B 5/26 7/08

庁内整理番号 7425-4L 7425-4L 7603-4F 7603-4 F

43公開 昭和56年(1981)5月20日

発明の数 2 審査請求 未請求

(全 3 頁)

匈繊維強化樹脂用繊維材料

②特 昭54-131777

22出 顋 昭54(1979)10月15日

@発 明 者 西村明

大津市園山一丁目1番1号東レ

株式会社滋賀事業場内

伽発 明 者 塚本光一 大津市園山一丁目1番1号東レ 株式会社滋賀事業場内

の発 明者 牧原和男

大津市園山一丁目1番1号東レ

株式会社滋賀事業場内

创出 願 人 東レ株式会社

東京都中央区日本橋室町2丁目

2番地

ж

- 発明の名称 橄維強化樹脂用橄維材料
- 特許請求の範囲

(1) 強化用繊維からなる複数枚の級物が多層に 配置されており、かつこれら複数枚の級物は、互 に対向する一方の職物の少なくとも一部の経糸ま たは緯米と他方の職物の少なくとも一部の緯糸ま たは経糸とが互に交錯していることにより一体に 保持されていることを特徴とする楔維強化樹脂用 磁磁材料。

強化用機維からなる複数枚の繊物が多層に 配置されており,かつとれら複数枚の磁物は,互 に対向する2 織物の少なくとも一部の経糸または 輝糸と互に交錯している補助概維により一体に保 持されていることを特徴とする破雑強化樹脂用機 維材料。

発明の詳細な説明

本発明は繊維強化樹脂用繊維材料に関し, さら に詳しくは、 繊維強化樹脂における樹脂の強化用 繊維材料に関する。

破稚強化樹脂(以下FRPという)における樹 脂の強化用機維材料のひとつに微物がある。そし て, 織物は所望の厚みのFRPが得られるように 通常その複数枚を積層して用いている。

しかしながら、職物を何枚も積層してゆく作業 は大変面倒であり、作業能率が低い。また、核層 の仕方によつてFRPの物性にはらつきを生する。 さらに、FRP中においては、織物同志は樹脂で 結磨されているだけであるから、織物の積層方向 における F R P の強度、特に引張強度はせいぜい 樹脂の強度程度であり、層間せん断強度も低い。

本発明の目的は,従来の襁褓材料の上記欠点を 解決し、FRPを成形する際の作業能率が高く。 かつ均一な物性と高い強度を有するFRPを得る ことができる繊維材料を提供するにある。

上記目的を達成するための本発明は、強化用機 職物の少なくとも一部の経糸または 降糸と他方の 槭物の少なくとも一部の禕糸または経糸とが互に 交錯していることにより--体に保持されている母

- 1 -

建強化磷脂用磁維材料を特徴とするものである。 また、本発明においては、上記目的を選成するために、強化用根維からなる複数枚の織物が多層に 配置されており、かつとれら複数枚の織物は、互 に対向する2歳物の少なくとも一部の経糸または 緑糸と互に交錯している補助繊維により一体に保 持されていることを特徴とする機維強化樹脂用概 維材料が提供される。

本発明の一実施例を説明するに、第1図において、複雑材料は経糸3と緑糸4とからなる複織物1と、経糸5と緑糸6とからなる平磁物2の多路では、大変錯して、複磁物1の一部の経糸5とは互に交錯している。なか、平磁物2の経糸5は、その全部がを緩物1の一部の線糸4と交錯している場合もある。

- 3 -

ための交錯に供される経糸または緑糸は、他の経 糸または緑糸にくらべて屈曲の程度が大きいため、 FRPに応力が加わつた場合にその屈曲部に応力 が集中し、その部分が破断してFRPが破壊する とがあるので、上記他の経糸または緯糸よりも 破断伸度の大きいもの、好ましくは 2 倍以上の破 断伸度を有するものがよい。

第2図に示す寒施例は、2枚の綾織物1A、1Bからなる2層構造を有し、これら2枚の綾織物1A、1Bの一体保持を、各綾織物1A、1Bの一体保持を、各綾織物1A、1Bの一体保持を、各綾織物1A、1Bの一体保持を、各綾織物1A、1Bの一体保持を、各綾織物1A、1Bの一体保持を、各綾織物1A、1Bの一体保持を、各校錯している。これでは、ボリアラミドではなどのマルチフはあり、その破壊をしている。とは、よいに、後、ないのとは、1Bを存がいても、とは、1との実施例において説明したのと同様のであるとはいりまでもない。

ま、本発明において用いることができる織物として は、上記機械物や平磁物・朱子磁物・またはこれ ちの変成職物などがある。

また、上記與施 例において、綾殿物の一部の韓糸と平職物の経糸とを交 錯させる代わりに、綾殿物の一部の経 糸と平職物の韓糸とを互 に交錯させてもよい。そして、互に対向する一方の織物の全部の経糸または経糸と、他方の織物の全部の韓糸または経糸とを互に交錯させることも可能である。

強化用椒維は炭素繊維・ガラス繊維・ポリアラミド繊維・ボロン繊維のような高強度・高弾性椒 継のマルチフイラメントまたはモノフイラメント である。そして、層構造を解成する緑物は、それ らの全部が同一種類の強化用繊維からなつている 場合もあるし、異なつている場合もある。また、 ひとつの織物について異なる2種以上の強化用繊 維を併用することもできる。たとえば、一体化の

- 4 -

第1 図は本発明の 破維強化 街脂用 破維 材料の 一 実 施 例 を 示 す 戯 略 側 面 図 , 第2 図 は 上 記 第 1 図 と

は異なる実施例の本発明の繊維強化樹脂用繊維材

料を示す概略側面図である

1 , 1 A , 1 B : 綾啟物

2: 平 檢 物

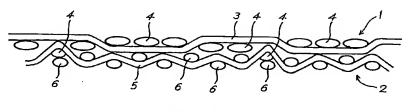
3, 3A, 3B, 5 : 経糸"

4, 4A, 4B, 6: 緯糸

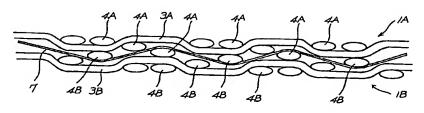
7:補助銀雜

特許出顧人 東レ株式会社

- 7 **-**



第 1 図



第 2 図